

神奈川県称号審査会(剣道：錬士・教士)受審要項

1. 県称号審査会：平成27年2月8日(日) 9:00 集合(厳守) 県立武道館 剣道場
称号審査講習会 // 13:00 開始予定 // 2階 会議室
(受審者の人数により終了時間が変更になる場合もあります)
2. 受審申請資格：添付の「受審要項」を参照して下さい。
3. 申し込み締切：**平成27年1月16日(金) 剣道連盟事務局必着** (受審料は所定の口座にお振込下さい)
4. 提出書類等

項	内 容	以下の書類に自筆で記入し、所属支部剣連に申し込む	錬 士		教 士
			一 般	特例者	
1	受審資格	県剣道錬士・教士称号審査会 受審申請要項を満たしている者	○	○	○
2	提出書類	剣道称号審査会 受審申告書……………県剣道連盟会長宛	○	○	○
		資格証明資料を添付……………会員証・受講証明等のコピー	○	○	○
		錬士受審申請書(本人用)……………段位様式第5号様式	○		
		特例 錬士受審申請書(本人用)……………段位様式第9号様式		○	
		特例 錬士候補推薦書……………段位様式第10号様式		○	
		※ 特例 錬士申請者は、資格等の事前審査を行い受審の可否をご本人に連絡いたします。			
		錬士 提出小論文 ……………<称号審査講習会>受講後に作成提出 提出期限:2月24日(火) ㊦にて県剣道連盟事務局宛(厳守)	2月24日締切 ○ ○		
		教士受審申請書(本人用)……………段位様式第4号様式			○
		社会体育指導員認定者(中級・上級)……………認定書のコピー	○	○	○
3	受審料	県審査会審査料……………受審申し込みの際各支部に納入	8,000円		12,000円
		全剣連審査料……………当日<県審査会合格者>は 会場係員に納入	7,000円		10,000円
4	装具等	剣道着・袴・剣道具・木刀(大・小)「印鑑」を持参して下さい	○	○	○

5. <全剣連> 教士号審査：教士号の筆記試験日 平成27年4月11日(土) 東京都 神戸市 福岡市 にて開催
試験問題：通達あり次第各支部へ連絡します(全剣連 剣窓・HPにも掲載されます)

6. 添 付 資 料：① 神奈川県剣連資料 錬士・教士 称号審査申請資格・県称号審査受審要項
：② 申請書類 県剣連提出用 ×1種類 ・ 全剣連提出用 ×4種類

※ 申請書類は必ず添付の用紙をコピーして申請して下さい。旧形式の書式やFAXで受信した用紙は使用出来ません。

神奈川県称号審査会（剣道 錬士・教士）要項

錬士号

受審資格

- ◎ 六段・七段受有者で 取得後 1年 を経過した者
受審日以前2年間に「県剣道連盟」主催以上の講習会に参加し ①～④ の条件を満たしていること
 - ① 日本剣道形 3回 以上 但し、社会体育指導員（中級・上級）認定者は <出席免除>
 - ② 審判法 3回 以上
 - ③ 指導法(合同稽古会) 5回 以上
 - ④ 審判経験 2回 以上 支部大会以上の審判・県剣連後援大会の審判・警察官大会
学校関係の審判（関東学連・神奈川学連・高体連・中体連）
- ◎ 五段受有者で、五段取得後 10年以上 経過し 年令 60才以上 の者
受審日以前2年間に「県剣道連盟」主催以上の講習会に参加し ①～④ の条件を満たしていること
- ◎ 六段・七段取得後 1年 を経過した者で、全剣連社会体育指導員資格（中級・上級）認定者は
全剣連の<小論文提出>が免除されます。 但し、②～④ の条件を満たしていること

神奈川県 審査会

- ① 審判実技 : 主審1回 ・ 副審2回 を行う。
- ② 日本剣道形 : 打太刀・仕太刀 両方 を行う。
- ③ 講習会(座学): 全剣連の称号本審査に提出する「小論文」作成方法について(当日開催)
社会体育指導員資格（中級・上級）認定者を除く全員出席のこと

教士号

受審資格

- ◎ 錬士七段受有者で、七段取得後2年を経過した者
受審日以前2年間に「県剣道連盟」主催以上の講習会に参加し ①～④ の条件を満たしていること
 - ① 日本剣道形 3回 以上 但し、社会体育指導員（中級・上級）認定者は <出席免除>
 - ② 審判法 3回 以上
 - ③ 指導法(合同稽古会) 5回 以上
 - ④ 指導歴を提出 支部会長の承認が必要
- ◎ 錬士七段受有者で、七段取得後2年を経過し、全剣連社会体育指導員資格（上級）認定者は
全剣連の「学科試験」が免除されます。 但し、②～④ の条件を満たしていること

神奈川県 審査会

- ① 審判実技 : 主審1回 ・ 副審2回 を行う。
- ② 日本剣道形 : 形の何本目かを指定し、解説・実施させる。
- ③ 講習会(座学): 全剣連の称号本審査に向けての 学科試験の取り組み方について(当日開催)
社会体育指導員資格（上級）認定者を除く全員出席のこと。

中止となった剣道形講習会の受講履歴の扱いについて

雪のため中止となった剣道(剣道形)講習会(H26.2.15)に受講申し込みをしていた者は、神奈川県称号審査会の受審資格の日本剣道形の出席1回と認定する。

対象者は称号受審時の受審申告書の該当箇所に「**H26.2.15申込**」と記入する事。

神奈川県剣道連盟
 平成13年04月01日 制定
 平成16年06月24日 改定
 平成17年12月15日 改定
 平成20年12月04日 改定
 平成23年12月01日 改定
 平成24年04月01日 改定
 平成26年12月01日 改定

神奈川県称号審査会(剣道 錬士・教士)申請資格 受審要項

<剣道 錬士・教士 審査受審規程>

< 神奈川県剣道連盟 審査規程 >						<全剣連>
称 号	受 審 資 格	受審日以前〔2年間〕に県剣道連盟主催以上の講習会に参加し、 剣道手帳に規程回数を受講印のある者 (錬士・教士 共通)				審査規程
		日本剣道形 講習会	審判法 講習会	指導法 (合同稽古会)	審判経験 指導歴	
錬 士	六段取得後 1年 を経過した者	3 回以上	3 回以上	5 回以上	「審判経験」 2回以上 ・支部大会以上 ・県剣連後援大会 ・警察官大会 ・学校関係 (関東学連) ・(神奈川学連) ・(高体連) ・(中体連)	論文提出
	<特 例> 五段取得後 10年 を経過 年令 60才以上の者	3 回以上	3 回以上	5 回以上		
	六段 取得後 1年 を経過した者で、 全剣連 社会体育指導員資格(中、上級)認定者	< 免 除 >	3 回以上	5 回以上		論文提出 <免 除>
教 士	錬士七段取得者で、七段取得後 2年 を経過した者	3 回以上	3 回以上	5 回以上	「指導歴」 受審申請書類に記入し 各支部会長の承認を受ける	学科試験
	錬士七段取得者で、七段取得後 2年 を経過し、 全剣連 社会体育指導員資格認定者	社会体育 中級、上級 <免 除>	3 回以上	5 回以上		社会体育上級 <免 除>

<神奈川県称号審査会(剣道 錬士・教士) 審査項目・講習会>

区 分	日 本 剣 道 形	審 判 法	講 習 会 (座 学)	
錬 士	(打太刀 ・ 仕太刀) 両方を行う	(主 審 : 1 回) (副 審 : 2 回) を行う	全剣連審査に 向けての講習を 全員受講	社会体育(中・上級)認定者 <免 除>
教 士	指定された何本目かを 解説しながら行う	(主 審 : 1 回) (副 審 : 2 回) を行う		社会体育(上級)認定者 <免 除>

平成 年 月 日

受審者

印

(印)

剣道 錬士・教士 称号審査会 受審申告書

(錬士・教士 ○印を記入)

「剣道手帳」に捺印されている「講習会出席印」のコピーを添えて申告いたします

全剣連番号 :

生年月日 : 大・昭・平 年 月 日 (才)

現段位取得日 : 段 大・昭・平 年 月 日 登録 都道府県

錬士号取得日 : 大・昭・平 年 月 日 登録 都道府県

◎ 受審申し込み以前 2 年間の講習会受講状況

剣道形 : 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)
(3回) 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)

審判法 : 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)
(3回) 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)

指導法 : 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)
(5回) 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)
平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)

◎ 大会審判状況(錬士受審者のみ記入)

(2回) 平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)
平 年 月 日 (主催) 平 年 月 日 (主催)

◎ 指導状況(教士受審者のみ記入)

指導場所名称 : 対象 小・中・高生・一般 週 回 月 回
指導場所名称 : 対象 小・中・高生・一般 週 回 月 回

◎ 全剣連(社会体育指導員 中級以上) 認定証のコピーを添付して下さい

平 年 月 日 (認定)

平 年 月 日 (認定)

上記内容を承認します

氏名

支部剣道連盟会長

印

申請番号

--

全剣連称号・段位様式第 5 号

平成 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

1. 剣 道

2. 居合道

3. 杖 道

錬士 受審申請書 (本人用)

*該当するものに○印をする。

(申請都道府県剣道連盟)

神奈川県 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

	フリガナ		フリガナ						
1 受審者氏名	<table border="1"><tr><td></td></tr><tr><td>印 (旧姓)</td></tr></table>		印 (旧姓)		<table border="1"><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr></table>				
印 (旧姓)									
2 生年月日	<table border="1"><tr><td>年</td><td>月</td><td>日生</td><td>年齢満</td><td>歳</td></tr></table>			年	月	日生	年齢満	歳	
年	月	日生	年齢満	歳					
3 性別	男 ・ 女								
4 取得称号・段位	<table border="1"><tr><td>段 位</td><td>段</td></tr><tr><td>取得 年 月</td><td>年 月</td></tr><tr><td>登録県名</td><td></td></tr></table>			段 位	段	取得 年 月	年 月	登録県名	
段 位	段								
取得 年 月	年 月								
登録県名									
5 全剣連番号	<table border="1"><tr><td></td></tr></table>								
6 住 所	<table border="1"><tr><td>〒</td><td></td></tr></table>			〒					
〒									
7 電話番号	<table border="1"><tr><td></td></tr></table>		携帯番号	<table border="1"><tr><td></td></tr></table>					
8 職 業	<table border="1"><tr><td></td></tr></table>								
9 全剣連社会体育 中級認定年月	<table border="1"><tr><td>平成</td><td>年</td><td>月</td><td>認定</td></tr></table>			平成	年	月	認定		
平成	年	月	認定						

※認定者のみ記入。

特例錬士

1. 剣 道
2. 居合道
3. 杖 道

*該当するものに○印をする。

錬士 受審申請書 (本人用)

(申請都道府県剣道連盟)

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第11条第2項(五段受有者)]に
基づき、道錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

	フリガナ	フリガナ						
1 受審者氏名	印 (旧姓)							
2 生年月日	年 月 日生	年齢満 歳						
3 性別	男 ・ 女							
4 取得 段 位 取得 年 月 登 録 県 名	<table border="1"><tr><td>段 位</td><td>五 段</td></tr><tr><td colspan="2">年 月</td></tr><tr><td>登録県名</td><td></td></tr></table>	段 位	五 段	年 月		登録県名		
段 位	五 段							
年 月								
登録県名								
5 全剣連番号								
6 住 所	〒							
7 電話番号	携帯番号							
8 職 業								
9 賞罰の有無								
10 全剣連社会体育 中級認定年月 ※認定者のみ記入。	平成 年 月 認定							

全日本剣道連盟
会長 張富士夫 殿

特例錬士

1. 剣道
2. 居合道
3. 杖道

*該当するものに○印をする。

神奈川県剣道連盟

会長 小林英雄 印

錬士候補者推薦書

今般、下記の者を全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第11条第2項(五段受有者)]に基づき錬士候補者として特に推薦いたしますので、審査願います。

フリガナ 氏 名 生年月日 本 籍	年 月 日 満 歳		全剣連番号 性 別 男・女	[職業]
現 住 所	〒			[連盟役員]
五段取得 年 月 日	年 月 日	五段取得 剣道連盟		[最終学歴]
[職 歴]				
[剣 歴]				
[斯道への功績]				
[剣連認定講習会実績]				
[推薦の特別な理由]				

◎楷書・簡条書で正確にこの用紙内に記入してください。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号

平成 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

1. 剣 道

2. 居合道

3. 杖 道

教士 受審申請書 (本人用)

※ 試験会場

*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟)

神奈川県 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

フリガナ	
印	(旧姓)

(旧姓)

フリガナ
フリガナ

2 生年月日

年	月	日	生	年齢	満	歳
---	---	---	---	----	---	---

3 性 別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

称 号	錬 士	段 位	段
年	月	年	月
登録県名		登録県名	

取得 年 月

登 録 県 名

顔写真を貼っ
てから提出し
てください
(3 cm×4 cm)

5 全剣連番号

6 住 所

7 電話番号

電話番号	携帯番号
------	------

8 職 業

現職		前職	
----	--	----	--

※出来るだけ具体的にお書きください。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定年月

平成	年	月	認定
----	---	---	----

※上級認定者のみ記入

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

剣道・居合道・杖道 称号審査 受審者講習会 (座学) の開催について

掲記の件につきまして、全剣連の称号審査で当県よりの受審者が不合格となるケースがあり、剣道連盟では全員合格を目標に受審者全員(一部除く)に講習会出席を制度化しました。

従いまして <神奈川県剣道称号審査会受審者>は、講習会出席が必須(一部除く)となりますので、申し込みは不要です。

尚、受審予定者以外で講習会を受講されたい方、<居合道部><杖道部>で受講される方は、下記用紙でお申し込みの上、講習会当日会場で受講料をお支払い下さい。

記

- 1. 開催日時 : 平成27年2月8日(日) 13:00 ~ 15:00
- 2. 開催場所 : 県立武道館 2階 会議室
- 3. 担当講師 : 教士八段 田島東海男 先生
 - 1) 錬士号 : 提出論文への取り組み方、まとめ方・・・等
 - 2) 教士号 : 筆記試験の勉強法、試験問題の要点解説・・・等
- 4. 受講料 : 1,000円 2月8日(日) 講習会当日 会場にて納入して下さい。
- 5. 申込締切 : 平成27年1月16日(金) 剣道連盟事務局必着の事

-----、きりとり -----

神奈川県剣道連盟 事務局 宛 <FAX 045-321-6176>

受講者 : なし	受講者が居ない場合も必ず連絡して下さい
----------	---------------------

受講 申し 込み 書	1		才	男・女
	2		才	男・女
	3		才	男・女
	4		才	男・女
	5		才	男・女
受講料 1,000円／人 : 円				

_____ 支部

担当者:

電 話 :

FAX :

以 上

< 申し込みの際、この用紙を「A4 又は B5 封筒」に貼り付けてお使い下さい >

剣道(称号:県審査)審査会 申込書

審査日 : 平成27年2月8日(日)

締切日 : 平成27年1月16日(金)

支部

区 分		受 験 料		受 審 者 数			受 審 料 (県 剣 連 納 入)	
		本人支出	支部交付金	男	女	計	単 価	申込金額
予 備 審 査	錬士	8,000	1,000				7,000	
	教士	12,000	3,000				9,000	
計		---	---				---	

称号(県審査会)合格者は 会場で全剣連審査料を徴収いたします。

(錬士:7,000円) (教士:10,000円)

< 注意事項 >

- (1) 「所定の短冊」 : 本人自筆のもの、代筆は不可です。
教士受審者:→短冊の上部右側に「受審地」を朱書きのこと
- (2) 「支部連名簿」 : 段別・男女別・年令順で記入して下さい。
- (3) 「受審料振込票のコピー」 : 所定の講座にお振込下さい。